

# 令和2年度学校評価の集計結果について

## 1 自己評価について

### (1) 本年度の重点目標

本校は、教育目標である「1 将来の地域産業を担い、地域の発展に貢献できる人材を育成する。 2 産業技術の専門化、高度化、国際化に柔軟に対応できる将来のスペシャリストを養成する。 3 礼節を尊び心身ともに健康で、人間性豊かな職業人を育成する。」という3つの観点に基づいて運営されている。

#### 1) 生徒に対して

##### ①学習指導の充実

生徒を引きつける授業、わかる授業と適切な評価

##### ②進路指導の充実

生徒に一つ上のレベルの将来（進路）を意識させる⇒キャリア教育

##### ③生徒指導の充実

規律を遵守、高校生としての品位、社会生活に必要なマナーや社会性を育む

#### 2) 保護者に対して

普段から連携と信頼関係の構築→必要な連絡を迅速にとり誠意ある態度で接する。

#### 3) 地域に認められる学校づくりの推進

##### ①情報発信（報道関係との連携・HPの見やすさの工夫と更新）

##### ②地域貢献、学習内容の延長として

#### 4) 行事の精選

特別活動・各学科等で教育課程への明確な位置づけと取捨選択する。

#### 5) 職員

##### ①働き方改革推進

##### ②チーム北陵・目標の共有・働きやすい職場

#### 6) 新しい動きへ対応

##### ①新教育課程の検討

##### ②大学入試制度・調査書・指導要録・ポートフォリオ／キャリアパスポートの検討

##### ③ユネスコスクールとしての意識

### (2) 評価項目

①基礎学力の向上、学習指導方法の研究、資格取得の推進

②挨拶の励行、交通事故防止、情報モラル育成に向けた生徒指導

③地域に根ざす活動の充実、部活動の加入促進、地域への情報発信

### (3) 評価の観点、評価基準等

①学習や資格取得のための指導体制が整っているか。

基礎学力の向上を目指した学習指導が行われているか。

学科の特性を生かした指導や資格取得の指導に積極的に取り組んでいるか。

効果的な教科指導が行えるよう研修に取り組んでいるか。

②高校生としてのマナーや規範意識・危機管理能力が身に付いているか。

挨拶の大切さや高校生としてのマナーを適切に伝えているか。

交通安全教育や情報モラル育成が適切に行われているか。

いじめの早期発見・再発防止のための取組が適切に行われているか。

③部活動や地域に根ざした活動等が活発に行われているか。

部活動や校内活動のための指導体制や環境が整備されているか。

地域貢献・地域連携活動の一層の推進がはかれたか。

学校の様子や特色を地域にわかりやすく伝えているか。

#### (4) 評価実施時期及び実施方法

10月 授業アンケート

11月 生徒・保護者・教職員それぞれに対して「学校評価に関するアンケート」

1月 年度末各部・学科・学年の努力目標・具体策の評価

#### (5) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

1月 学校評議員会で報告

3月 学校ホームページに公表

来年度 P T A新聞に掲載

#### (6) 評価結果

①各学科・教科・学年を中心に、生徒の実態に応じた取り組みがおおむねできた。

②生徒指導において、学級担任による面談や生徒アンケートなどを充実させ、生徒理解に努めることができた。交通事故防止のための指導をさらに充実させる必要があると考える。

③進路指導において、学年と連携をとりながら、それぞれの生徒に対し十分な支援が行えた。

#### (7) 評価結果に基づく今後の改善方策等

①さらに検討を重ね、生徒の実態に合わせた指導を引き続き行う。

②今年度も交通事故が発生しており、注意喚起を繰り返し行い、指導体制を強化する。

③個々の生徒の進路実現を見据えた学習指導、学科の特性が生かした指導体制の構築。

## 2 学校関係者評価について

### (1) 評価組織（評価者）

学校評議員会（P T A代表を含む）

### (2) 評価時期及び実施方法

1月 学校からの各取組の報告、各部・学年・学科による自己評価、及び生徒・保

護者・教職員によるアンケートの結果等を参考として総合的に評価する。

(3) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

3月 学校ホームページに公表  
来年度 P T A新聞に掲載

(4) 評価結果

以下のような評価をいただいた。

- ・コロナやインフルエンザ感染対策を強化してください。
- ・今年度交通事故報告が多く交通ルールの遵守、交通事故防止は粘り強い指導がなお一層必要だと思われる。特に農場と本校の道路での交通マナーが悪かった。
- ・基礎学力を身に付けるとともに、各科での専門性をさらに伸ばしてほしい。
- ・資格を活かした分野に進路を決定される方も多く今後の活躍を期待している。
- ・スクールカウンセラーの導入は多様化した生徒の対応のためにも今後重要です。
- ・コロナ禍でも「グローバルG A P」が進められ地域貢献として評価できる。

(5) 評価結果に基づく今後の改善方策等

- ・交通事故防止については、立哨指導の機会を増やすなど、指導を強化する。
- ・各学科の活動について、さらに専門性が伸ばせるような取り組みを積極的に行う。
- ・学習指導・進路指導において、より効果的な指導が行えるよう検討する。

3 学校からの情報提供について（学校評価に係る取組を除く）

(1) 提供内容

進路状況、生徒指導・学習指導の現状、学校行事・部活動・学科・農業クラブ・家庭クラブなど生徒の活動状況、P T Aの活動状況など。

(2) 提供方法

P T A新聞、本校ホームページ、同窓会報、生徒会誌、地域発行新聞、P T A総会、同支部会、同役員会、同窓会総会、同役員会、学校祭、保護者会、学級通信など